

## 教育プログラムの概要及び採択理由

機 関 名	神戸大学	申請分野(系)	人社系
教育プログラムの名称	経営学研究者の先端的養成プログラム (研究力・教育力・実践力の縦横断的養成)		
主たる研究科・専攻名	経営学研究科会計システム専攻		
(他の大学と共同申請する場合の大学名、研究科専攻名)			
取組実施担当者	(代表者) 櫻井 久勝		

### [教育プログラムの概要]

#### **本教育プログラムで養成する人材像**

経営学研究科は、明治35(1902)年の神戸高等商業学校の開学以来、わが国における経営学・商学の中核的な研究教育拠点(COE)として、その各分野における先端的な教育を行ってきた。こうした研究科での教育によって、博士前期課程修了者は、経営学・商学の基礎的学問分野の高度な専門知識を生かし、シンクタンクや企業などで主導的役割を果たす人材となっている。さらに、博士後期課程修了者は、先端的研究を通じて、各専門分野に精通し、国内外の大学や研究機関において、独創的な研究を行ったり、次世代の研究者を養成するという役割を担っている。

#### **本教育プログラムの特徴**

- ・ 本教育プログラムの特徴は、プログラムで養成する人材像を実現するために、3つの異なる能力(高度研究能力・多角的教育能力・経営実践能力)養成を縦横断的に実行していくことにある。
- ・ **プログラムの縦断性** 3つの能力養成プログラムを、それぞれの学年で習得すべきレベルに応じて計画的に配置し、高度研究能力・多角的教育能力・経営実践能力の養成を段階的かつ着実に行う体系的なコースワークとする。
- ・ **プログラムの横断性** 3つの能力養成プログラムを、それぞれの学年において並列的に配置することにより横断的な能力を修得する。さらに、これらのプログラムを通して経営の実践力を身に付けることにより、研究力・教育力が一層深化するといったプログラム間の相乗効果が期待できる。

#### **本教育プログラムの計画**

本教育プログラムは、以下の3つのプログラムで構成される。

**[高度研究能力強化プログラム]** 本プログラムは、国際的に最先端のフィールドで活躍できる**高度な研究能力**の強化を目指す。具体的なプログラム内容としては、a) **研究方法論の社会科学的基礎の強化**(研究者の基礎としての社会哲学に関する科目を前期課程1年次に提供して、現在の個別化した方法論研究の基盤を補強する)、b) **講義科目のシームレス化**(現在提供している科目内容体系を再検討して科目の関連性を更に高める)、c) **論文作成力養成セミナーシリーズ**(学年の進行に合わせて、「論文作成セミナー」、「海外ジャーナル投稿セミナー」、「学外者も招いたオープンセミナー」などの**多様なリサーチセミナー**を開催して、段階的な研究力の促進を支援する)、d) **集団による博士論文指導**(第二論文審査合格後、論文指導委員会を組織し、関係分野の複数教員による研究指導体制を確立する)、というプログラムを実施する。

**[多角的教育能力向上プログラム]** 本プログラムは、学部生から実務家まで多様なバックグラウンドを持つ人々への教育が可能な**多角的な教育能力の高い研究者**の養成を目指す。具体的なプログラム内容としては、多角的教育能力の段階的な養成を行うため、第一段階として、前期課程の2年目は学部講義のTAとして授業の補助業務を担当する。後期課程に入ると第二段階として、**ラーニング・ファシリテーター(LF)**として学部及び前期課程の授業の質疑応答を担当したり、クラス討論の指導を行うことによって教育能力を高める。さらに、第三段階として経営実務家向けに経営の基礎について教育する機会を提供することで、**実践的経営の教育能力**を養成する。

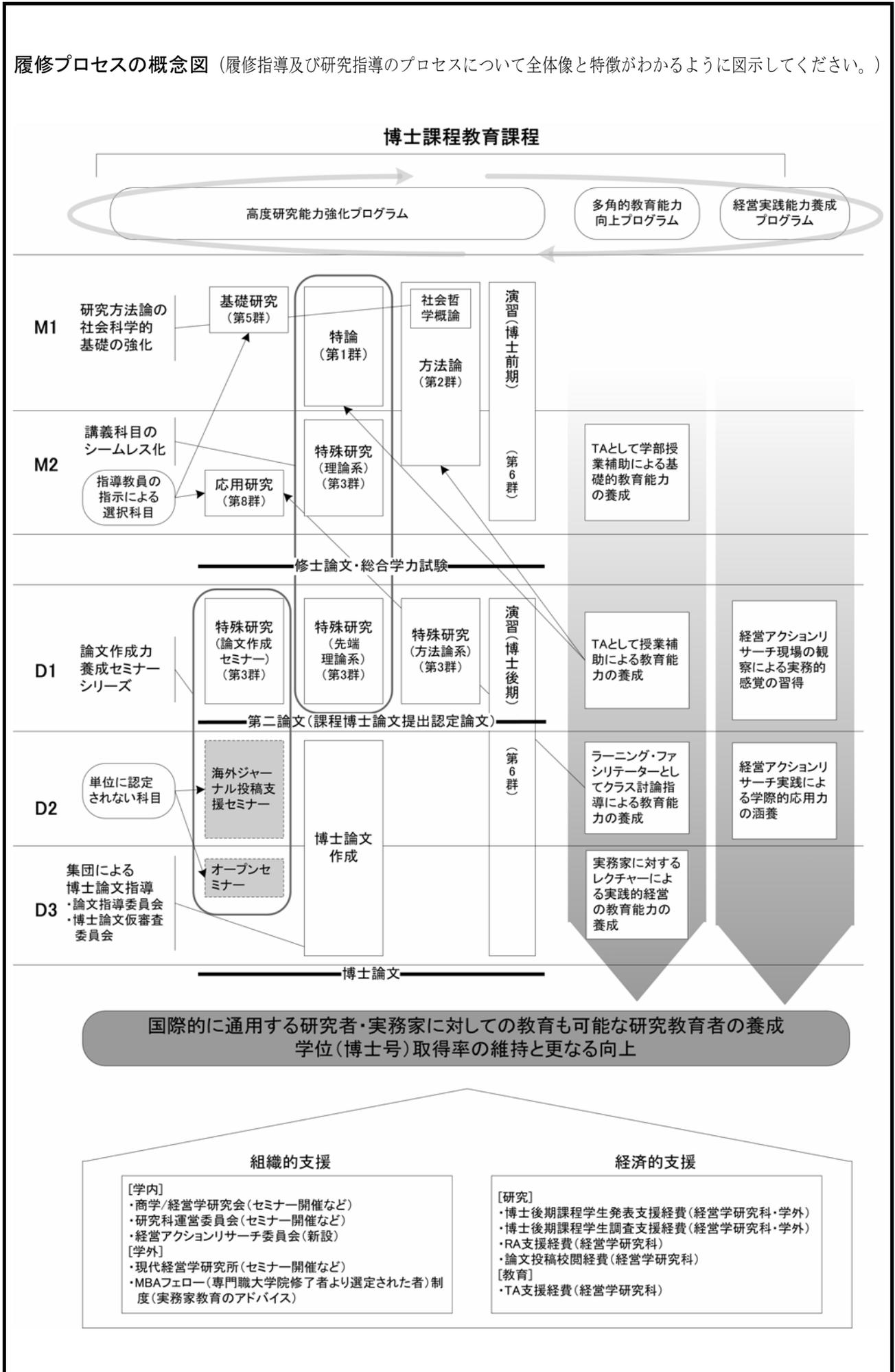
**[経営実践能力養成プログラム]** 本プログラムでは、実務的、学際的な視野を広げ、理論的な研究成果を**経営の実践にも応用できる能力**を養成することを目指す。具体的なプログラムとして、**経営アクションリサーチ**を推進する。この経営アクションリサーチは、企業や非営利組織における実務の課題を実務者、研究者、学生が協同して解決するプロジェクト方式のプログラムである。

なお、これら3つのプログラムは、長年経営学研究科が培ってきた経験や実績を生かし、学内外の**組織的支援**や**経済的支援**を活用して実施する。

#### **本教育プログラムの目標**

- ・ 国際的に通用する研究能力と実務家教育も可能な教育能力を兼ね備えた高度な経営学研究教育者の養成を目指す。
- ・ 学位(博士号)の取得率の維持と更なる向上を目指す。

履修プロセスの概念図（履修指導及び研究指導のプロセスについて全体像と特徴がわかるように図示してください。）



## 神戸大学：経営学研究者の先端的養成プログラム

### <採択理由>

大学院教育の実質化の面では、博士前期課程と博士後期課程の人材養成目的が明確に掲げられており、それに沿った教育課程が体系的に編成され、学位授与までのプロセスも明確である。また、個々の教員と科目担当等の教員グループに対するきめ細かいファカルティ・ディベロップメントの実施体制、専門分野別の自己点検・評価体制、課程博士の取得要件として課す総合学力試験などの厳格な成績評価と基準の明確化、学生に対する修学上の支援体制においても優れたものがある。

教育プログラムについては、大学などの研究機関において主導的な役割を果たす人材を養成するという目的を具現化するため、特に、高度研究能力強化プログラム、多角的教育能力向上プログラム、経営実践能力養成プログラムの3つのプログラムを有機的に結びつけて能力養成していく取組みが高く評価できる。特に、企業や非営利組織における実務の課題を実務者、研究者、学生が協同して解決するプロジェクト方式の「経営アクションリサーチ」は先駆的なプログラムとして期待できる。